



鳥栖市の特徴や誇れるもの

- ・旧長崎街道が町の中心を貫き、古くから交通の要衝として栄え、当時の長崎街道には田代宿や轟木宿の宿場町が置かれていた。現在は、鉄道、国道、高速道路が交差する九州陸路交通における「クロスロード」としての役割を担っている。
- ・市の北西部に所在する城山の山頂とその南山麓の谷筋に、戦国時代後期の城下町遺跡である「勝尾城筑紫氏遺跡」（2006年に国の史跡に指定）がある。
- ・春には、曾根崎、牛原、神辺の獅子舞、宿の鉦（かね）浮立、秋には、四阿屋神社の御田舞、村田浮立、藤木の獅子舞等、市内各地で伝統的な民族芸能が行われている。
- ・駅前不動産スタジアムは、サガン鳥栖のホームスタジアムであり、サロンパスアリーナは、佐賀久光スプリングスの練習拠点として、プロスポーツの発信地となっている。
- ・平成27年度より取り組んでいる教科「日本語」は、小中一貫教育の大きな柱として日本文化と郷土を愛する心を育てている。

鳥栖西中 職業人に学ぶ(地域人材の活用)9月18日(木)

鳥栖西中学校では、毎年2年生が総合的な学習の時間に進路・キャリア教育の一環として「職業人に学ぶ」講話を行っています。いろいろな職種の経験豊かな方々の話を聞くことで、地域を理解し、働くことの意義を学び、これからの自分の生き方につなげることを目的としています。生徒は希望の職業を選択し、少人数のグループに分かれてワークショップ形式で講師から職業についての講話を聞きます。今年度は26名の地域の方に講師をお引き受けいただきました。講師の方から「生徒の成長を実感できてよかった」とのお言葉を頂戴しました。講師の選定や依頼に学校運営協議会委員の皆様が積極的に御協力いただいていることも本校の取り組みの特色です。



旭小 「開校150周年記念式典」11月29日(土)



創立150周年を記念し、昨年度よりドローン撮影、のぼり旗や記念品の作成、記念式典の準備を学校運営協議会を中心に進めました。式典での校長による記念授業では、校歌の作詞・作曲者である陶山聰氏（歴代校長・音楽家）の思いを辿り、子どもたちは学校目標との繋がりを深く学びました。歌詞に込められた願いを再確認した子どもたち。この伝統ある校歌を大切に歌い継ぐことで、旭小学校の歴史と文化を大切に継承していくことなのでしょう。また、ゲストとしてお招きした娘さんから、陶山先生の幼少期からの音楽愛についても貴重なお話を伺うことができました。

麓小 陶芸教室「オリジナルのお皿をつくろう」9月12日(金)

麓小では3年生の図画工作の学習の一環で、9月12日(金)に陶芸教室を行いました。校区の立石町にある「魚蓮坊窯」の窯主の松尾伊知郎さんに講師を依頼し、ご指導いただきました。子どもたちは、オリジナルのお皿をつくるために、魚や花やハートや猫など、自分が思い描いた様々な形のお皿づくりに取り組みました。粘土の成形にとても苦労しましたが、講師の松尾さんにごつを教えてもらいながら熱心に取り組む姿が見られました。地域の達人の思いや技を学ぶ場となりました。

